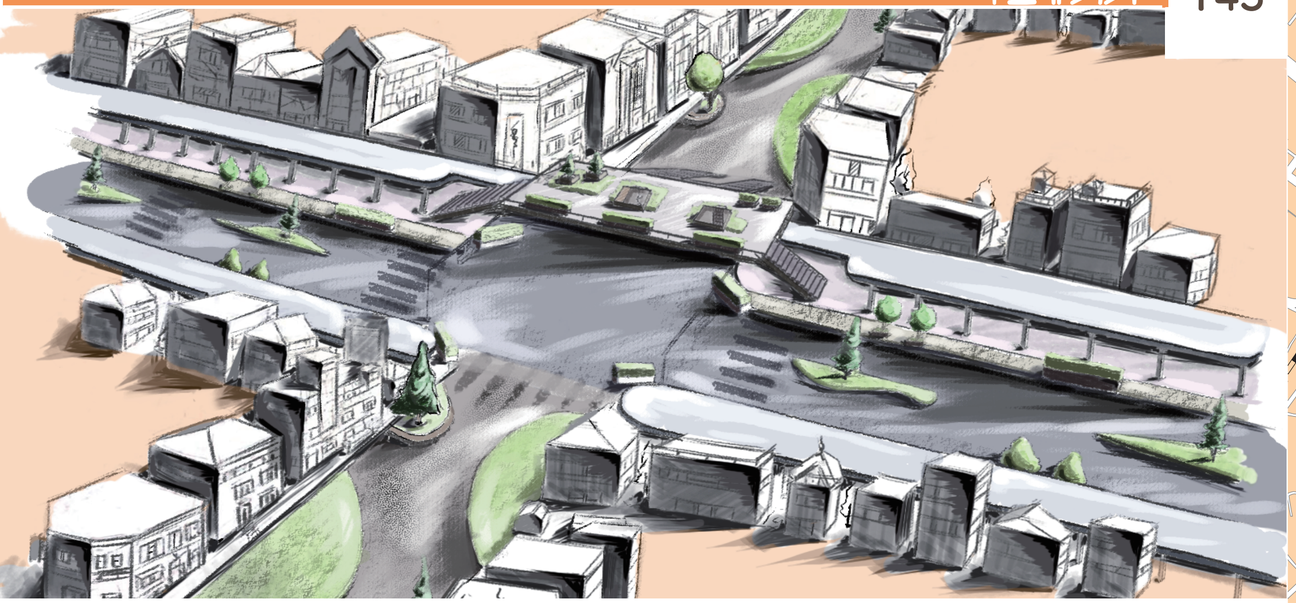
日常をアクティブに～まちなかスポーツストリート計画～

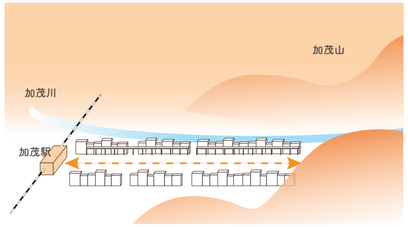


現状と課題

スポーツ施設点在

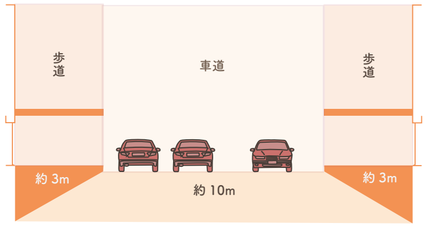
加茂市の市街地にはスポーツ関連の公共施設がいくつか点在しており、まちの中心部から離れていることが多い。そのため、まちなかで気軽に運動をできる場が少なく、スポーツに対するハードルが高くなっている。

加茂市の構造



加茂市は、加茂山と加茂川により形成された扇状地であり、川に沿った通りや商店街など東西に伸びた軸状の町並みが見られる。加茂市を構成する東西の都市軸に比べて、繋がりの薄い南北を整備することでさらなる魅力向上が見込める。

車中心の社会



自動車が主要な交通手段となっている加茂市では、ＪＲ加茂駅を起点として中心商店街の活性化に貢献するため道路が拡幅された。一方、通り全体で自動車を優先した道路構成になっており、歩行者から見て、歩きやすい空間が確保されているとは言い難い。

コンセプト

公共空間をスポーツフレンドリーな場所に

まちなかにスポーツを

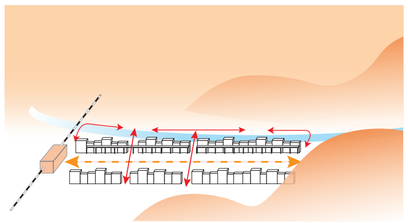
ストリートにおけるプレイス（滞在）機能として、気軽に運動ができ、スポーツを親しみやすくするような空間を設ける。まちなかを歩く中で、スポーツを普段から見かけることで、スポーツとの距離を縮め、スポーツを知ったり、スポーツを始めきっかけとする。

スポーツとの関わり方

スポーツとの関わり方にはスポーツを「する」だけではなく、観戦などスポーツを「みる」、応援や企画からスポーツを「支える」、ルールや歴史などを調べて「知る」など多様な関わり方があり、それぞれの関わり方に対応するような都市空間を提案する。

都市を広く使う

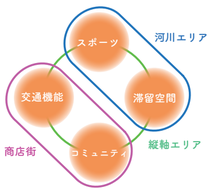
縦軸の挿入



東西に向かって伸びている川、商店街、山といった都市軸に対して南北の縦軸方向の道路を整備する。これにより、東西の道路が繋がり、都市が広く使えることで回遊性が生まれる。回遊性を通して人々の交流がもたらされ、まちにさらなる活気が生まれる。

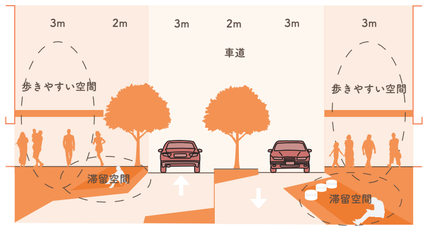
縦軸の要素

縦軸では「まち」を繋げる要素として、都市に必要な交通機能の他、スポーツに親しめる場、滞留空間、地域のコミュニティの場を設ける。地域の人々がこの縦軸を利用し、スポーツが日常に溶け込むことを狙いとする。



ウォーカブルなまち

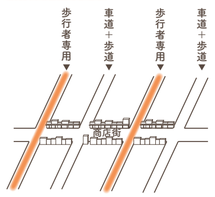
歩行空間の再編



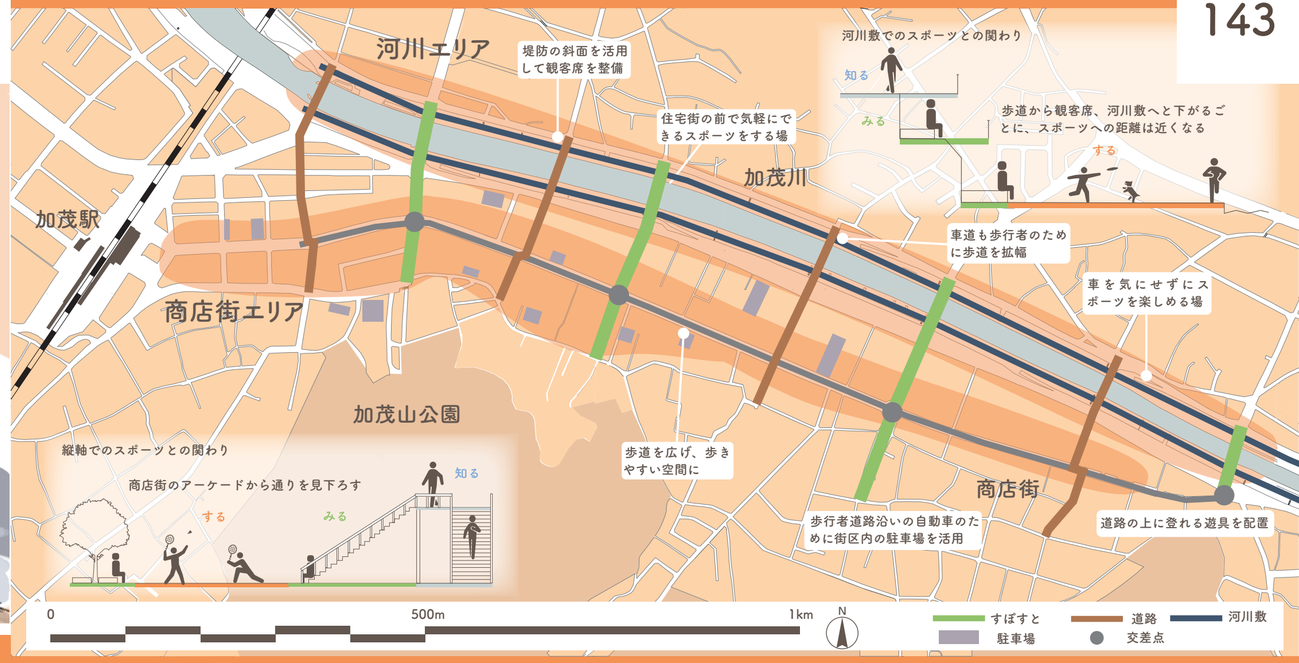
歩きやすい、歩いて楽しい空間を創出するために歩行空間の再編を行う。車優先になりすぎた従来の道路に滞留空間の創出や歩道の拡幅を行うことで歩行者も利用しやすい空間が増え、まち全体にウォーカブルなスペースを作りだす。

歩行者専用空間

歩行者が安心して歩けるよう、縦軸に歩行者専用の道路「スポーツストリート（すぽすと）」を設ける。歩行者専用道路（すぽすと）と自動車も通過できる道路とを交互に配置していくことで車の通行も妨げないような計画としている。



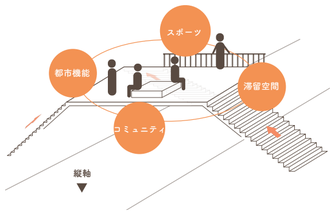
計画の概要



都市空間のイメージ

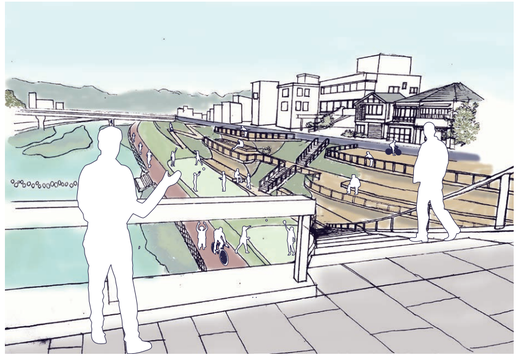
スポーツストリート（すぽすと）

縦軸の歩行者専用空間ではまちの中でスポーツに親しめる空間とした。河川から市街地への歩行者専用道路ではバドミントンやボール遊びのような運動を想定した空間を等間隔で用意、その間には休憩するベンチのような滞留空間を設置した。商店街の交差点にはアーケードの延長のような立体広場を設けた。



立体広場では、歩行者専用空間と商店街の車の動線が交わらないように歩車分離を行っている。また、滞留空間としての機能や、遊びの機能を導入することで、地域のコミュニティの形成の場ともなり、誰もが楽しく利用することができるものとする。

河川エリア



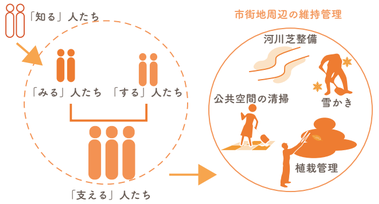
河川エリアでは、車の通る道路ではできないようなスポーツに親しめる空間とした。スポーツを「する」人だけではなく、「みる」人にとっても居心地の良いよう、河川の斜面に観客席となるような滞留空間を設ける。スポーツを「する」人がランニングに取り組みやすくなるようなゴムチップ舗装の歩行者空間、車を気にせずにキャッチボール、また、橋を利用したボルダリングといったいつもの日常にひとつ面白さを感じられるような空間を創造した。

商店街エリア

商店街エリアでは、道路整備として既存の道路からの道幅変更とボンエルフの導入を行う。車道を約 10m から約 6m にすることでアーケード下の歩行空間を広げる。また、車道を蛇行させることで車の走行速度を抑えるとともに、張り出た空間では、商店街の一部として品物を並べたり、ストリートファニチャーを置いて休憩スペースとして使ったりするなど、商店街を使う人々が自由に活動を拡張することができる。

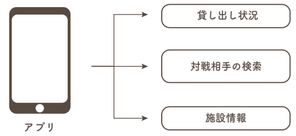
管理・運営と活用の方法

管理・運営の形態



スポーツを「支える」人たちによる、主体的に維持管理するコミュニティを形成し、運動空間の整備・清掃や、雪かきを協力して行う。これにより、「する」「みる」「知る」人たちが気持ちよく運動に取り組み、時には、「支え（る）」合いながら、運動と健康のまちづくりを推進する。

アプリによる活用



歩行者専用道路、河川敷等のスポーツをする場所に置かれた道具の貸し出し状況を表示する。

スポーツの対戦相手を探している人どうしが簡単にお互いに見つけられる掲示板を表示する

スポーツ空間（歩行者専用道路、河川敷等）の空き状況や、移動時に消費できるカロリーを表示する

運動空間と連携させながらスポーツに関わる機会を増やすことで、
生活の一部としてスポーツを取り入れ、地域住民のスポーツに対するハードルを下げる